



## 【韓国】 総合指数は週間で1.2%高と続伸、節目の2500ポイント付近で上値重い

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.2%高と続伸。総じて買い優勢の展開だった。18年の初取引となった2日は前週の株高の流れを引き継ぎ、続伸スタート。米株式市場で主要3指数が史上最高値を更新する中、韓国市場でも買い安心感が広がった。一方、指数は節目の2500ポイントを越える水準では上値が重く、4日は主力のハイテク株の利益確定売りとともに5営業日ぶりに反落した。ただ、5日は再び買いが優勢となり、サムスン電子や現代自動車など幅広い銘柄が上昇。指数は17年12月5日以来、1カ月ぶりの高値を付けて週の取引を終えた。今週は、世界的な株高とともに再び2500ポイント超えを目指す展開か。10日には韓国の失業率やマネーサプライ、12日には最大の貿易相手先である中国の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は週間で5.7%高と大幅続伸、今週も上昇傾向が続くか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で5.7%高と大幅に続伸。前週に反発した流れを引き継ぎ、3営業日の取引ながら海外株高と原油高を支援材料に2014年9月以来の1200ドル台を回復した。ロシア正教のクリスマス休暇で企業や銀行の多くが休業となり、閑散な取引の中、年末から続いているイランでの反政府デモや米東部の記録的寒波、米原油在庫の減少などを受けてブレント原油先物が2015年5月以来の高値まで上昇したことが支援材料となり、エネルギー株に買いが継続した。指数は3日に昨年末終値をわずかに上回る1154.44ドルで寄り付いた後、4日には約3年4カ月ぶりに1200ドル台に上昇。5日は前日比0.5%高の1219.89ドルで取引を終了し、3日連続で高値引けとなった。今週は短期的な調整も想定されるが、上昇傾向が続くか。

▼指数チャート



## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.9%高と3週続伸、今週も堅調な値動きか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.9%高と3週続伸。前週までに続伸した流れを受けて先週も売買代金を伴いながら上昇し、2007年11月以来の1000ポイント超えとなった。1日が休場で4営業日の取引となった株式市場では、2017年のベトナム経済成長率が政府目標の6.7%を上回る6.8%となったことや、12月中に発表された世界銀行の長期予想で今後6.5%前後の成長ペースを維持できるとの見通しが示されたことを材料に堅調に推移した。一部の証券会社が、2018年のベトナム経済成長率が7%を超えるとの見通しを示したことも支援材料。VN 指数は12月22日から1月4日まで9営業日続伸となった。5日はこれまでの上昇の反動で売り優勢となり、前日比0.7%安の1012.65ポイントで取引を終えた。今週も堅調な値動きか。

▼指数チャート



## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.03% 安、今週は 17 年 12 月の貿易統計に注目**

ジャカルタ総合指数は4日間の取引で0.03%安と前週からはほぼ横ばい。週前半は17年の取引最終日の12月29日に終値ベースで過去最高値を更新した反動などで軟調だったが、後半の上昇が週の下げ幅を縮めた。2日は17年12月の日経PMIが49.3と5カ月ぶりに景況感の分岐点となる50ポイントを下回ったことが嫌気されて、指数は6営業日ぶりに反落。3日も続落したが、4日は前日のNYダウが過去最高値に達した流れを受けて反発すると、5日の終値は3日ぶりに6300ポイントを回復して週の取引を終えた。今週は12日に17年12月の貿易統計が発表される予定で、市場予想から上振れすれば好材料。

### ▼指数チャート



## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.5% 高、約 2 年 8 カ月ぶりの高値更新**

ストレーツタイムズ指数は4日間の取引で2.5%高と続伸。昨年末からの勢いを引き継ぎ堅調に推移した。2日は17年10-12月期のGDP速報値が前年同期比3.1%増と市場予想の2.6%増から上振れしたことを受けて金融株が指数上昇をけん引。4日は前日の取引終了後に発表された12月の製造業PMIが52.8と前月をわずかに下回ったものの、NYダウが上昇した効果で終値が3500ポイントに到達し、約2年9カ月ぶりの高値を更新した。5日は利益確定売りで7営業日ぶりに反落して取引を終了。今週は12日に11月の小売売上高が発表される予定で、前年同月比で3カ月ぶりに増加に転じるかが焦点になる。

### ▼指数チャート



## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.4% 高、24 年ぶりに過去最高値を更新**

SET 指数は3日間の取引で2.4%高と6週続伸。週末まで4営業日続伸と好発進した。連休明けの3日は前日のNYダウが反発したことに加え、17年12月の日経PMIが前月を上回る50.4に伸びたことが好感されて、指数は終値で前営業日比1.4%上昇し、1994年1月以来24年ぶりに過去最高値を更新。4日はイランで昨年末から続く反政府デモが原油の供給減を引き起こすとの懸念から価格が上昇したことを受けてエネルギー株が買われた。5日はアユタヤ銀行など金融株の一角が値上がりし、指数は場中に一時1800ポイントに乗せた。今週は国内のイベントが少ない中、勢いを維持できるか注目される。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.2% 高、2 年 8 カ月ぶりに 1800 ポイント回復**

クアラルンプール総合指数は4日間の取引で1.2%高と6週続伸。連休明けに反落したが、その後はじりじりと上値を広げた。2日は年末のお化粧品買いの反動で売られ、指数は4営業日ぶりに反落。ただ、3日に買い戻されると、4日には終値で節目の1800ポイントに到達した。5日は11月の輸出額が市場予想から上振れしたことや為替相場でリング高が進んだことが好感され、15年5月以来の高値を更新。結局、3日続伸して取引を終えた。今週は11日に17年11月の鉱工業生産、12日に小売売上高が発表される予定。外部要因では、NYダウが前週末まで3日連続で過去最高値を更新した効果が期待される。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。